

工業っ子ミニ

第59号
2022 4 25
新聞部速報
編集
長崎工業新聞部

恐竜博物館号

迫力満点!!

楽しめる展示

全国で三か所目恐竜専門の博物館



▲博物館前にそびえたつ恐竜の像

恐竜専門の博物館としては、国内で三か所目と話題の長崎市恐竜博物館。そんな、話題の博物館に取材に行ってみました。

二〇二一年十月二十九日、長崎市野母町にオープンした長崎市恐竜博物館。博物館のある長崎半島には「三ツ瀬層」と名付けられる八千百万年前の恐竜時代の地層があり、国内でも有数の化石産地

二〇二一年十月二十九日、長崎市野母町にオープンした長崎市恐竜博物館。博物館のある長崎半島には「三ツ瀬層」と名付けられる八千百万年前の恐竜時代の地層があり、国内でも有数の化石産地

として研究者の注目を集めています。現在、館内にはティラノサウルス科の大型種としては国内初となる歯の化石や国内最大級となるハドロサウルスの標本など約一八〇点の化石や標本を展示。二



◀ドードーの化石

階には最新の学説に基づき製作された、本物かと思いがうほど精巧に姿や動作が再現されたティラノサウルスの復元ロボも。また、化石についての泥などを取り除くクリーニン

グ機器、化石内部まで見られるCTスキャン機器

みんな楽しんぷんち

恐竜博物館に隣接している軍艦島資料館内にあるファストフード店「G A O G A O」。メインメニューは恐竜の肉(実は鶏肉)を使った恐竜サンド。アボカドサンド、チーズサンドなどさまざまな種類があり、ソースの辛



▲恐竜サンドセット

さは甘口、中辛、辛口の三つから選ぶことができます。ほかにも、ポテトや竜田揚げといったサイドメニューもあります。恐竜サンドには、具がぎっ

が備えられ、作業も見られるようになっていきます。

「化石がたくさん また訪れたい」 来場者インタビュー

私たちが訪れた時は学校の長期休暇中ということもあり、多くのお客さんが来館。ほとんどが親子での来館で、県内からはもちろん県外からのお客さんも見られました。館内から出てきたお客さんに、博物館の感想を伺うと「かわいらしい化石から迫力のあるものまで多くの化石があつて驚いた」

裏面には恐竜博物館の学習指導員の方のお話を載せています。

しり詰まっついていて、食べごたえがあります。特に辛口は食後に口の中が熱くなるほどの辛さでした。長工からはかなりの距離がありますが、とてもおいしいので博物館に行つた帰りにでも、ぜひ食べてみてください。

さまざま化石が展示されていて素晴らしかった。館前に子供が楽しめる遊具があり、また来たいと思った「子供に行きたいといわれて来てみた。動くティラノサウルスなど、迫力があつた」と楽しそうに答えてくれました。

これから、企画展やワークショップなど、様々な催しをする予定です。館内にある研究室は、だれでも見学できるようになっています。恐竜に興味のある人、研究風景を見た人はぜひ足を運んでみてください。

一番人気は ティラノサウルス科のロボット

青木みらのさんインタビュー

後日メールにて、恐竜博物館学習指導員の青木みらのさんに博物館についてお話を聞いてみました。

やりがい お客様の笑顔

Q現在の職員は何名ですか。

一二十一名です。長崎市の職員と民間企業三社から構成されています。

Q冬休み前後で客足はどう変化しましたか。

一平日の同じ曜日で比較すると、最大十六倍になりました。休日は大きな変化はありませんでした。



▲迫力のある骨格展示

Qやりがいを感じる時はいつですか

一仕事で携わってくれた方々が、笑顔で替えられたときです。

私のご案内したお客様や取引先の方々が楽しんでいるのを見ると、うれしくなります。特に、最後笑顔で帰ってくれたときにはやりがいを感じます。

Q館内で一番人気のある展示物は何ですか。

一ティラノサウルス科のロボットです。

常設展示室二階にあるティラノサウルス科のロボットは、小さなお子様から大人まで人気があります。

一階の展示物よりも二階の滞在時間の方が長く、動画や写真を撮っていらっしゃるお客様が多く見受けられます。当館に立ち寄った際にぜひ見てみてください。

首の長さも規格外



発掘が期待される 白亜紀後期の地層

Qおすすめの展示物は何ですか。

一哺乳類の上腕骨化石です。

一九六二年に三菱高島炭坑から骨の化石が発見されたものです。東京大学高井冬二教授により、植物食恐竜「トラコドン（ハドロサウルス科）」の上腕骨と認定され、日本最初の恐竜化石として話題になりました。しかし、一九九四年に北九州

市立自然史博物館学芸員の岡崎美彦研究員によって、その化石は哺乳類と認定されました。日本初の恐竜化石にはなりませんでしたが、その実物化石を長崎市恐竜

博物館に展示しています。

スルーされがちな場所に置いてありますので、ぜひ探しに来てください。

Qなぜ野母崎で化石が見つかるのですか。

一三ツ瀬層という恐竜化石がある地層が、野母崎にあるからです。

野母崎を含めた長崎半島の沿岸部に三ツ瀬層という地層が広がっています。三ツ瀬層は八〇〇

万年前の地層という事がわかっており、白亜紀の後期という時代に相当します。ティラノサウルス科の歯の化石やハドロサウルス上科の歯の化石など、多く発見されています。福井県立恐竜博物館

と共同で調査をおこなっていますので、今後の発掘結果にご期待ください。



▶一番人気のロボット

企画展などの 規模拡大予定

Q今後博物館を大きくする予定はありますか。

一物理的に大きくする予定はありません。しかし、企画展やワークショップなどの催し物は、規模を拡大していきます。

さらに、国内の自然博物館では三ヶ所にしかない研究設備もあるので、

今後は白亜紀後期の研究拠点としての博物館と連携をとりながら調査・研究の規模も広がっていきます。

意外と知らない 工業との関係

Q長工生にメッセージをお願いします。

一工業と恐竜って実は関係大あります。当館

にいるティラノサウルスの全身骨格「トリックス」は3Dプリンターで出力されています。3Dスキャナーやプリントの技術が発達したおかげで、オリジナルに触れることなく形

のデータを取ることができず。欠けたパーツの補完することも容易になりました。トリックスの展示ではどこがオリジナルで、どこが補完されたものなのか知ることができます。みなさんにはぜひ、技術が支えている恐竜の研究について着目して見ていただけたらなと思います。

コロナウイルスで制限が多く、高校生のみなさんは苦労が多く大変な時期だと思っています。健康を第一に新しい時代を楽しみながら過ごしてください。

▼恐竜博物館についての
お話を聞くことができます。今回のインタビューを見て、恐竜やそれを支える技術に興味を持った人は恐竜博物館を訪れてみてください。

編集 後記

取材に行つたのは二年生で、発行は三年生。新入部員に示しがつかないので、次の号は急ピッチで作ります。